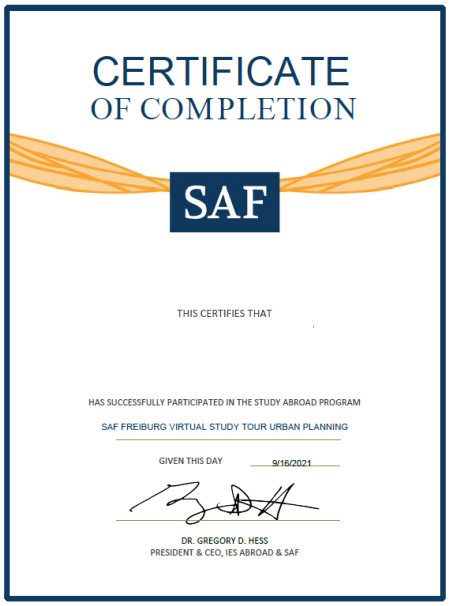
羽ばたけ! TUT2021 報告書概要

５ 系　（ Ｍ ）　１ 年

参加プログラム	☐ モナシュカレッジ　☒ SAF 短期研修　☐ スインバン大学 ☐ 湖池屋ベトナム　☐ シリコンバレー　☐ フリープラン型
参加プログラム名	短期研修型 ドイツの持続可能な都市づくり
研修期間	2021 年　９月　６日　～　2021 年　９月　24 日
研修先機関名・所在国	フライブルクセンター・ドイツ
研修の概要 （研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。）	持続可能な都市であるフライブルクの都市計画と、日本の今後の都市計画の点望とドイツとの違いを学び、都市計画の政策を考えることをテーマに、様々なカルチャーセッション、ゲストレクチャー、グループワーク等を受講した。 今回の研修に参加するにあたり、ドイツの都市計画に関する基礎知識(持続可能なまちづくりとは実際にどのような事業を行っているのか、日本の都市づくりとの違いは何かなど)の取得と日常会話や専門用語を用いた会話などによる語学力の向上を目標に取り組み、日本と環境に関する意識の違いが大きくあることや、自然エネルギーの利用が積極的に行われていること、住民の意識の違いなど新たな知識を学ぶことができた。さらに、授業やグループワークを通して英語を聞く・話す・書く力も向上したと考える。
活動写真 １枚 （修了証の写真でも可）	 CERTIFICATE OF COMPLETION SAF THIS CERTIFIES THAT HAS SUCCESSFULLY PARTICIPATED IN THE STUDY ABROAD PROGRAM SAF FREIBURG VIRTUAL STUDY TOUR URBAN PLANNING GIVEN THIS DAY 9/16/2021 DR. GREGORY D. HESS PRESIDENT & CEO, IES ABROAD & SAF

羽ばたけ! TUT2021 報告書

研修内容

今回の研修では、約３週間にわたりドイツの食や文化と、持続可能な都市づくりのためのハード面とソフト面の取り組みの大きく二つの分野について学んだ。

来年度から計画しているドイツ留学にむけて、持続可能なまちづくりとは実際にどのような事業を行っているのか、日本の都市づくりとの違いは何か、日本に応用できる技術があるかなどの都市に関する基礎知識の取得と日常会話や専門用語を用いた会話などによる語学力の向上を目標とし、この研修への参加を決めた。

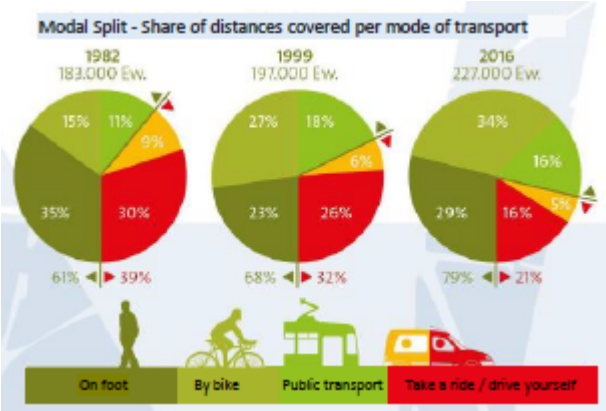
研修の内容としては、下に記すスケジュールで一日２時間~2時間半の講義の中で白い四角が文化や食について、緑の四角がフライブルグの都市の取り組みに関する講義であった。

Session 1 – Monday, September 6th 9.00-11.30am Introduction: Faculty/Group + Freiburg I	**Session 2 – Tuesday, September 7th 9.00-11.30am** Introduction: Sustainable development in Freiburg	**Session 3 – Wednesday, September 8th 9.00-11.00am** Freiburg II	**Session 4 – Thursday, September 9th 9.00-11.30am** History, urban planning & the pedestrian zone	**Session 5 –Friday, September 10th 9.00-11.30am** Sustainable business
Session 6 – Monday, September 13th 9.00-11.00am Local Food and Drink	**Session 7 – Tuesday, September 14th 9.00-11.00am** Sustainable architecture	**Session 8 – Wednesday, September 15th 9.00-11.00am** Sustainable mobility in Freiburg	**Session 9 – Thursday, September 16th 9.00-11.00am** Festivals & Events	**Session 10 – Friday, September 17th 9.00-11.00am** Green Industry Park and Blooming Industrial Areas
Session 11 – Monday, Sept. 20th 9.00-11.00 Freiburg's region: The Black Forest and Rhine valley	**Session 12 – Tuesday, Sept. 21st 9.00-11.00am** Vauban district: A great example of sustainable urban planning	**Session 13– Wednesday, Sept. 22nd 9.00-11.30am** Suburban agriculture, CSA & garden cooperative the example of the "Gartencoop"	**Session 14 – Thursday, September 23rd 9.00-11.00am** Final Session 1 Student presentations **11.30am-12.30pm** Final Session: Freiburg Culture	**Session 15 – Friday, September 24th 9.00-11.30am** Final session 2 Student presentations Conclusion

文化と食についての講義では、初日にフライブルグにはどんなイベントや風習があるのかを学んだ。日曜日以外毎日行われるファーマーズマーケットやビアガーデン、サッカーが有名であるなど、都市でありながらゆったりした空間が広がっているという印象を受けた。その後は、伝統的な衣装や食べ物、イベント、特徴的な地域について日本と比較しながら学んだ。個人的にドイツの食べ物はヘルシーな印象を受けた。プレッツェルやチーズケーキ、ビールなど日本も影響を受けいている食べ物も多くあり、様々な国から影響を受けている食料が多くあることを改めて感じた。

都市計画に関する講義については、まず歴史・都市の人口や交通手段などの概要を学んだ。過去の原子力発電の設立に対する反対運動などもあり、自然エネルギーの利用が促進されていることや、年々自動車の利用者が減少し

自転車の利用者数が増えていることに驚いた。フライブルクの持続可能なしくみとして、まず建物の取り組みとして回転する家やソーラーパネル、建物の軒を長くする、断熱材の工夫が挙げられた。また、マンションの建て替えの事例ではコミュニティの重要性も改めて感じ、日本も団地の空洞化などの問題に直面しているためとても勉強になった。交通に関する工夫としては、8 割の人が交通アクセスが良くなるように路線を配置していることや、自転車道の整備として自転車専用道や自転車を優先する仕組みが行われていた。また、自転車のレンタルやカーシェアリングなども行われており、自転車を使うよう促す仕組みが都市全体で行われていると感じた。工業地域の取り組みとしては、積極的な緑地の生成と地域のコミュニティを利用していた。日本の工業地域には、ほとんど緑がなく住民の住む場所と隔離されたイメージがあり、フライブルクとの大きな違いを感じた。その他にも、プラスチックを使わないオーガニックショップやジーンズの再利用、組織による農業など持続可能な取り組みを様々な観点から行っていることを学んだ。



ドイツの都市計画については制度的なものを少ししか知らなかったが、持続可能な取り組みの詳細を知ることができた。日本でも持続可能という言葉は近年よく耳にするようになったが、ドイツのように都市規模で多くの人が環境問題に対して意識しているという現状はまだできていないと感じた。日本はまだまだ持続可能な都市を確立するにはたくさんの課題があると共に、もっと教育をしていくべきだと感じた。例えば私は、研修中にプラスチックごみの問題を学んでから食料品のパッケージや包装などのプラスチックごみが思っていた以上に自分の身の回りに溢れていることに気が付いた。普段意識していないことを学ぶことでその問題について意識し、なるべくゴミが出ないものを選択するようになった。同じ研修を受

けていたメンバーも同じような経験をしていた。たった 3 週間でもこのように一人一人の意識を変えていくことができるため、教育は意識改革の重要な取り組みになると考える。

また、講義中にグループワークの機会が多くあったため自分の意見をアウトプットしたり、自分が思いつかないような面白い意見も知ることができた。講義はすべて英語で行われるため、理解が難しいと感じるときも多くあったが、単語を調べたり予習を行ったりついていけるよう必死に取り組んだ。アウトプットすることは、最初は文章の組み立てが間違ってないかなど不安になってなかなか発言できなかったが、せっかく参加しているからやってみようという気持ちで講義が進むにつれて話せるようになった。一つ自分のプライドという壁を壊すことができたと感じる。

今回の研修前に設定した行動目標として、研修 1 回につき必ず 1 回質問する、研修前に毎回必ず使う 3 単語を決めてその単語を用いるという 2 つの目標を設定した。最初のうちは、間違えるのが怖くてこの目標をなかなか達成できなかった。しかし、研修の終盤ではグループワークなどの際に分からないことをちゃんと相談できたり 3 単語や、他の人が言っていたいいなと思う言い回しを真似することができた。

今後の目標としては、短期的には来年度から計画しているドイツ留学に向けて語学の勉強や TOEFL や IELTS のテストの受験で目標点を目指すこと、今回の研修中にサポートしてくださった青山さんや先生たちと留学時に会うことを目標とする。長期的な目標としては、将来都市計画に関する仕事に就きたいと考えているためフライブルグの持続可能な取り組みを日本の都市計画の主流に変えていけたらと考えている。

この研修を通して、自分の語学力の低さを実感したと共にドイツについても自分の国についても自分の知らないことが多いとわかったので学業に関しても自国の文化の理解についてもモチベーションが上がった。自国の文化の理解については、インターネットや本などで情報を得るだけでなく実際に現地に行き歴史的な街並みや産業に触れていこうと考える。また、日本の文化の一つとして小学生の頃習っていた茶道をまた初めて見ようと考えている。

普段聞きなれない英語の授業は難しく感じたが、多くの新しい知識を楽しみながら学ぶことができると共に他の人の視点からの意見も多く聞くことができ考え方の幅が広がったと感じる。3 週間という短い期間がったが貴重な経験ができた。